

発行●新河岸川流域川づくり連絡会 新所沢事務所  
 住所●埼玉県所沢市弥生町2996-6山口ビル1F TEL & FAX042-994-3212  
 発行日●1999（平成11）年10月25日



新所沢事務所誕生！●名称募集●  
 新河岸川流域川づくり連絡会

新河岸川流域フェア開催●  
 新河岸川流域  
 総合治水対策協議会

特集●水循環MAPづくりワークショップ  
 始動！●  
 水循環MAPづくり  
 ワークショップ事務局

流域増水しらべ●  
 '99年8-9月

流域  
 INFORMATION●  
 '99年11月



流域の  
 イメージキャラクターを  
 探してください！！  
 どことなくカメやカツムリに似ているんだけど…  
 あなだにはどんなふうに見えますか？

### 新所沢事務所 誕生！

#### ●名前をつけてください●

当連絡会では、昨年度まで朝霞事務所より『新河岸川流域通信』を発行してきましたが、本号から『新河岸川流域しんぶん』と名称を改め、事務所も新所沢に移りました。西武新宿線新所沢駅東口から歩いて約4分ほど、「バイン通り」（なぜ「バイン」なのか？？解明しよう！）に面したビルの1階、広さは20坪以上。事務作業のほか、会議やちょっとした企画展示もOK。…というのも、前の借り主がブティックを聞いていたため、天井にスポット照明の設備があるのです！



どなたでも自由に出入りができ、いつでも必要な時に、新河岸川流域の“川”や“水”に関わる情報を知ることができるよう、今後、設備や情報をどんどん充実させていくべく準備中です。

新しい事務所の名称（愛称）を募集します。親しみやすいニックネームを考えて、事務所でFAXか郵送で、お名前・ご住所・連絡先を明記の上お送りください。お待ちしております！！

PHOTO 報告

見て・ふれて・考えて

新河岸流域フェア



新河岸川流域模型

新河岸川って  
どここれ川があるね

新河岸流域フリーマーケット

思い出し物は  
見つかったかな？

釣れたかなあ？



水辺の生物・ブリガニ釣りコーナー

新河岸川にも  
たくさん生きものが  
いますよ！！

新河岸川 見てさわって体験コーナー

ブリガニって  
スリメもエサもあると  
釣れるんだ！！

あっ!! 芯路だけの方は  
水がすごい勢いで流れるよ  
でも、木や土がある方は  
ゆっくり水が流れてくるね



雨水浸透模型

透水性のアスファルトは  
コンクリート、砂層より、  
どれくらい  
水を通すかな？



透水性舗装体験コーナー

芯路も水も  
吸い込めたいんだね

「身近な川について、見てふれて考えて、  
もっと川を知ろう!!」と、9月18～19日に「新河岸流域フェア」が所沢航空記念公園にて行われました。

「新河岸川バリエーション」では、北三太旗やお囃子などの郷土芸能が披露され、「新河岸流域めいさん市」には、狭山茶やお醤油、日本酒「ゆめところ」など流域の名産品が、温かい笑顔とにぎやかな掛け声とともにずらりと並び、ついつい

試食に手をのばしては、舌つつま。

「新河岸川見てさわって体験コーナー」には、新河岸川流域の模型はもちろん、雨水浸透模型や「水たまりのできないアスファルト」透水性舗装の見本に感心させられ、「新河岸川流域が、もっとわかる展示」では、新河岸川本川や各支川で活動する市民団体がこんなにあったのかと驚き。流域市民が参加したフリーマーケットも大盛況で、天気の良い日曜日には、大勢の人出がありました。主催：新河岸川流域総合治水対策協議会

SITO GIRI VOL.6 里川 特集

新河岸川流域「水循環MAPづくりワークショップ」事務局

「水循環MAPづくりワークショップ」が始まりました

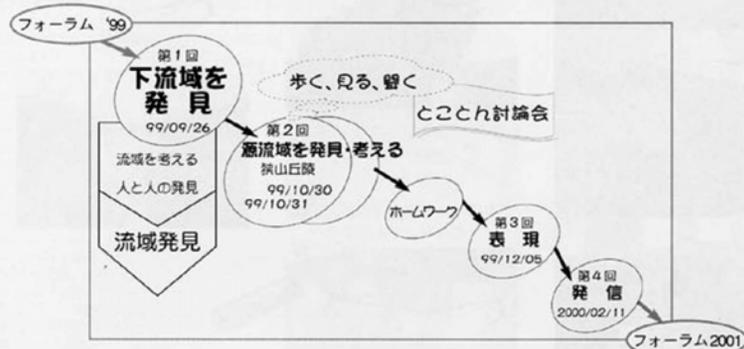
昔、舟運が栄えていた頃の新河岸川流域では、「水」は川はもちろん大地の中や空でも自由に動きまわっていました。それがいつの間にか、地表のアスファルトや川のコンクリート護岸等に邪魔され、「水」を育む森がなくなりました。ヒトの活発な活動で「水」自体も汚れ、汚水さえも安心して飲めなくなっていました。いいえ、汚水そのものがなくなりつつあるのです。コップ一杯の水には約6×10<sup>23</sup>個の水の分子が入っています。その一つ一つの分子が、地球の大地、海や空を—私たちの体の中も—ヒトを含めた生き物すべてを自由に巡りめぐって育んでくれました。

今、新河岸川流域という一つのまとまりの空間において、傷ついた「水の旅路」（水の循環）を修復していく努力を始めたい……。その一つのきっかけとして、水の循環の現状を表した流域地図をいっしょに考えていくため、流域市民を中心に約60名の方々とこのワークショップを始めました。

(主催/建設省関東地方建設局堀川下流工事事務所調査課)

第1回 ワークショップ  
新河岸川流域

下流域で水の姿を発見!



● ワークショップで目指していること ●

- 知り合う (発見)  
流域にはいろいろな人たちが関わっています。この場を機に互いに知り合うことで、一人一人のつながりの輪がひろがっていきましょ。
- 考える  
水の循環の望ましい対応を考えつつ現状を調べ、他の人に伝えるための工夫やアイデアをみんなで出し合ってみること。
- 伝える (表現・発信)  
みんなで流域を見て歩き、考えていく過程で思いもかけない成果? が出てくる場合があります。それらをまとめて小冊子にすると「環境学習のための副読本」なんかができるかも。

第1回  
ワークショップ  
の様子



● 水の循環をめくって ●

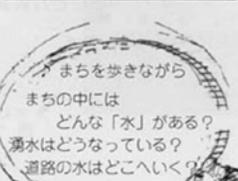
水の循環って大事なんです! 昨年来、国や東京都では声を大きくして言い出しています。建設省は「健全な水循環の構築」、環境庁は「健全な水循環の確保」また東京都は「望ましい水循環の形成」とか……。でも「健全」とか「望ましい」とか、いったいどんなことなんでしょう。そのこともこのワークショップの中でみんなで考えてみたいことなのです。

# 新河岸川流域 第1回ワークショップ 下流域で水の姿を発見!

1999年9月26日(日)

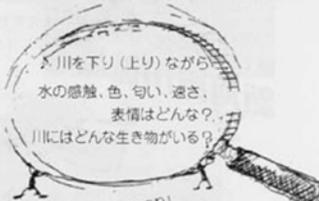
## 午後：新河岸川流域との関わりを発見

敷島神社の境内で再び全員集合。流域に関わるお話を聞いたり、私たちの生活と川との発見について話し合いました。最後に、みんなで書いた「発見カード」を整理して、8つのキーワードにまとめました。

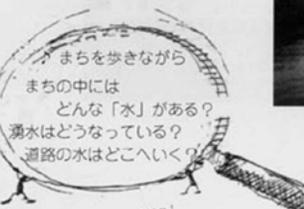


## 午前：まち歩き&川下り

新河岸川流域本館マップづくりワークショップに参加する皆さんが続々とふじみの駅に集合。初顔合わせの挨拶の後、6つのグループに分かれて、さっそく新河岸川下流域のまち歩き&川下りコースをスタート。



「水鳥もあつて、毎日こんな歌のなのね」  
「空と水と水の風景がすんばる! せまってくる」



「川にも長い長い歴史があるんだなあ」  
「昔は人との関わりがもっとあったのさ」

## Aグループ

### Aグループ

川面を吹く風や流れの強さ、都賀川口の湧水の豊かさ、都賀川口の大神神社の年に一度の祭りに出会い、往時の新河岸川と人との関わりを知り、今までとは違った新河岸川の姿に感動しました。旧新河岸川では今も残る豊かな自然を知り、傍らに菜園や花壇を見つめ、旧新河岸川に往々方々の気持ちがあった川に咲いているという発見をしました。

## Bグループ

ボートから新河岸川に残る唯一の河野林(大日本海軍の斜面林)や川に面した社寺、護岸の生物の棲家などを発見し、昔からの川環境を感じました。都賀川では湧き出る水が本当に湧水なのかという疑問が出、旧新河岸川では水生植物の生育やカエルの存在等からワンド的な役割、周辺民家の樋子や花壇等の川との関わり方から、様々な可能性を全員で確認できました。

## Cグループ

思いやりEボートに乗った行程を地図にプロットし、そこで見たこと、聞いたこと、感じたことを整理。話題のポイントが、「湧水・B川の前に住んでいるおばさんの話・水田・ピストン」と浮かび、「Eボート・新河岸川」と来たところで、新河岸川の水運とそれに支えられた江戸時代川越あたりの繁栄の話が盛り上がり、流域の物語を集めて「お祭り」なんかいいね、となりました。

## Dグループ

なんと皆で私たちが一番関心が高かったのは「川下り」でした。特に川野の飛めや、時間の流れ方など目撃河岸から感じられるものとの違いに対して、好意的な意見が多くなりました。また都賀川口で見られた豊かな湧水の姿や、水天宮周辺に昔あった池が今は跡形もないことなどから、河川整備に対する疑問や問題など様々な想いが浮かんできました。

## Eグループ

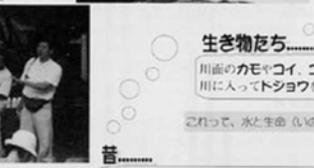
川を通して様々な出会いと発見がありました。都賀川口でこんこんと湧き出る湧水に感動し、ドジョウやフナをとる子供たちと出会い、水川神社の見事な斜面林では原風景を見た気がしました。ボートに乗って興奮気味の私たちがゴイサギやたくさんの魚たちが躍ってくれました。一方で、ゴミの問題など私たちの生活が川に住む生物にどんな影響を与えているのかを再認識しました。

## Fグループ

共通のポイントは、①都賀川口の湧水前にびっくりしたこと、②高土見川口でドジョウをとる少年たちと川の中を泳ぐヘビや鳥たちなど、生き物との出会いに感動したこと、③水にまつわる地名や神社が残っていることを知り、私たちが水の流れや海に近い民だと認識したこと、そして何となくEボートから眺めて見た、新たないろいろな発見ができたこと、の4つでした。

8つのキーワードを照ると  
「水と生命(いのち)、  
水の存在と「水」、  
水がもたらす時間」など、  
水のつながり(水循環)にも  
いろいろあるようです。

次回の源流域探索では、  
何が目えてくるのでしょうか



## 発見! 8つのキーワード

<b>生き物たち</b> ..... 川面のカモやコイ、ゴイサギの姿 川に入ってドジョウをとる少年たち	<b>ひとひと</b> ..... 川の流域の人々と暮らし 参加者の意識の高さ
<b>昔</b> ..... 旧河川 すぐきとところがいっぱい 水辺のお寺や神社	<b>未来</b> ..... あきらめかけた可能性にも再度、期待 寄せられる川に
<b>現在</b> ..... ゆっくりと静かに過ぎる川の時間を実感 水上で得たやすらぎの時間と空間	<b>湧水</b> ..... 知らなげに都賀川口のボコボコ湧水に びっくり。普段は見えない地下水が見えた
<b>身近な水辺</b> ..... 水上からの風景 水の豊穡々々 泳ぐ・歩く・匂い・よみ・ゆれ	水があること・水の存在感って、 私たちが思っているよりすごいらしい
<b>川の流れ</b> ..... Eボートでの川下りは、楽しい!面白い!快適!	

流域に関わるお話し「あれこれ」

エコシティ志木の原二祥一さんと環境情報センターの原 良二さん

●はじめに原二さん。志木市役所の方でもあります。みどりのまちづくり課が平成3年度に行った「親水公園神社下ゾーン（現こもれびのこみち）の実施計画と散策路の整備」の後の親水公園計画について、市と市民団体（二樹会他7団体）の懇話会という形で発足した意見交換会を経た結果、当初計画を大きく変更することになったという代表的なプロジェクトのお話をしてくれました。



●続いて森さんから「エコシティ志木」発足の経緯について聞きました。志木市が30年に文部省の環境教育推進モデル都市に指定されて以来、様々な講座や活動を継続展開し96年に市民団体として発足。現在は110名のメンバーと共に関中とのことです。エコシティ志木の連絡先:Tel.Fax(048)471-4275 杉野博範さん宛付

バックテストで水質調査をしました！

バックテスト（細菌学調査器具の名称）の結果から

●表を見ると、本日より柳瀬川合流点の水質が汚れていることが伺えます。これは、柳瀬川に下水処理水が放出されていることに要因がありそう（現状の処理施設では窒素分の除去率が低いため）。また、福崎川の水は河川水よりも清浄な水質です。これは炭酸ガスの含有量が多いためです。一般的に湧水が美味しく感じるのはこの炭酸ガスの清涼作用によるものと言われています。

	新河岸川	福崎川	木栗橋湧水	福崎川合流	鳥毛山湧水
COO	5	1	5	7	1
pH	6.5	6.2	6.5	6.8	6.0
NO <sub>3</sub> -N	0.1	<0.01	0.1	0.2	<0.01

注) COO (化学的酸素要求量の略) は、水の汚れ具合を大まかに示すもので値が大きいほど汚れています。pH (水素イオン濃度指数) は7が中性でそれ以下が酸性を、それ以上の場合はアルカリ性を示しています。水に溶け込んでいる炭酸ガス等によって値が左右されます。NO<sub>3</sub>-N (亜硝酸性窒素) は主にトイレなどの汚濁物質の分解過程で生じるものです。

アンケートの集計(途中)報告

(現在34名の方から回答をいただいています)

第1回ワークショップの後、参加者の皆さんにアンケートをお願いしています。これは、その途中報告です。

●新河岸川についてどの程度ご存じでしたか？

「よく知っていた・知っていた」を合わせると26名、「知らなかった」方は8名でした。

よく知っていた 11人	名前が不明 知ってはいない人	知らなかった 8人
----------------	-------------------	--------------

●これまで「流域」という言葉を聞いたことがありますか？

34人全員の方が「はい」というお答えでした。

ある 34人	ない 0人
--------	-------

●これまで「水循環」という言葉を聞いたことがありますか？

「ある」と答えた方は26名、「ない」方は6名でした。

ある 26人	ない 6人
--------	-------

多数の方が「流域」「水循環」という言葉を知ることがあると答えてくれました。

でも、その言葉から連想するイメージはさまざまようです。今回は、回答の中からほんの一部をご紹介します。

●「流域」という言葉から何を連想しますか？

川岸の自然やその周辺の街など、遊覧船、馬車、風車、市街、田畑、漁業、文化の入り口、海、中州/その川と生活・文化が密接な関係を持つ地域/湾の恩恵を受けているところ、水に関わりのある所/ひろがり/川の恵みのもとに人が集まり、集落を形成した大志の生活/かつては人々の生活の場であり大河にあっては文明の発達の場であった/ガンスワ河/文化交流/デルタ地帯、洪水/台風とが災害/平野/洪水との戦い/下水道

●「水循環」という言葉から何を連想しますか？

天から雨水、川、海、水蒸気/地球の水の姿や、都市の中の水の活用/汚染された川/汚染物質も水の循環サイクルにのること/森林の役割/大地/水中から大気中そして地中にこもっている/水の系、水の連鎖/ライフサイクル/水の生かす死、そして再生までか?/水蒸気を追って、地球上の水の流れ全体/水と大気の大きな循環、自然の大きな営み/汚い水がきれいになる/使用した水をきれいな自然の水に戻し、また使用する

おまけ：ワークショップが26日に延期された理由

時は9月22日、おひるも数日前に台風18号が九州に向け移動を始めて、枚田前報が活発になっていました。7ページに掲載されている「宮戸橋（柳瀬川との合流下）の降雨量と水位の変化」のグラフから、21日の昼頃から降り出した約20mm程度の雨で、約2mの水位上昇が確認できます。翌日の天気予報は降雨確率が50%から次第に回復しそうでした。でも、ポットによる川下りの予定コースの現地確認では、かなりの流速でかなり危険と判断しました。事務局が延期を決めた22日の夕刻には、宮戸橋の水位は約1.5m上昇していたことが、前述のグラフからも分かります。

1999年8月～9月

新河岸川流域増水しらべ

川は流域住民の暮らしにおいて、とても大きな存在です。憩いの場として流域住民に愛される川、水量が減って水枯れが心配される川、水質が悪くドブ川と嫌われる川…。新河岸川流域にも様々な川がありますが、台風や低気圧などの影響により溜りが集中する8～9月にかけて、川の増水・洪水についての関心が高まるのではないのでしょうか。

そこで今回は、新河岸川流域で暮らしの方々に、「お近くの川の増水について」聞いてみました。

水循環MAPづくりワークショップ（特集参照）で、9月21日に降った雨の影響を考えた3日の開催を延期するということがあったため、流域の方への質問は当初、9月21～22日の降雨（累計雨量43mm、時間雨量はグラフ参照）により、川がどんな状態であったか」としました。しかし、同日よりも8月の集中豪雨についての話の方が多く聞かれました。

9月21～22日、新河岸川本川では降り出して数時間のうちに、目撃で1m前後水位が上がっていました。支川の黒田川でも同じく1m前後水位が上がっているのを近所の方が目撃されています。他の支川でも平常時の3～4倍の増水というお話しでしたが、皆さん、この程度の雨では、心配になって川を見に行くほどではなかったようです。

8月14日の集中豪雨は、所沢で時間雨量33mmを記録し、不老川では下流域で氾濫し、浸水にあった住宅も。柳瀬川にそそぐ北川では、河原は水没し堤の上辺50cmまで濁流が迫り、北川が合流した柳瀬川では、水深は平常時の8倍の2.4mとなり流れも川幅いっぱい、水量は20倍にはなっていたようです。土安松の松戸橋では、橋の下13mのところまで水面が迫り、33mm/hでここまで上がってしまうなら、50mm/hくらいで溢れてしまうのではないかと危惧する声も聞かれました。

流域に暮らしの方々に合わせて、川の増水は不安以外の何ものでもありません。



せん。急激な濁流、茶色の水が押し寄せた様子に恐怖を感じられるのも当然でしょう。8月の豪雨時は様子を見に、皆さんも川へ足を運ばれたようです。ただ、水かさが増すのも早ければ、水が引くのも早い、というお話しも聞かれました。前述の北川では翌日にはすっかり静まり、魚の群れが見られたそうです。

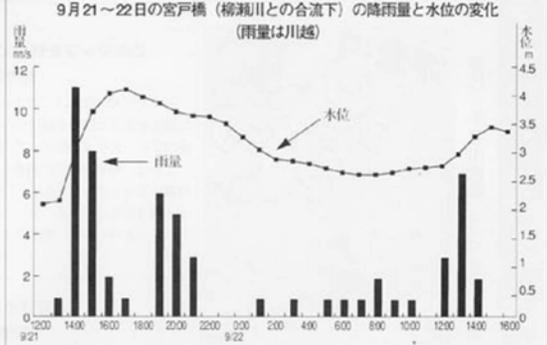
時 とき短時間で大量の雨が降るといのは自然現象、雨が降って川の水かさが増すのも自然現象。問題は、都市型河川の保水能力のなさ」というお話しもありました。

川にだけ治水対策をしても、街中の雨水がまっすぐ川に流れ込んでくるため、

その川が持つ「流せる」能力を越えてしまえば氾濫するし、川幅を広げたり調節池などを作るにも、用地確保に限度があります。昔は、森林や田畑などがある程度の雨水を吸収していたため、今ほど川に負担を掛けずにすんでいました。

降った雨全部を川に流すのではなく、家の庭や道路など途中の地面で減らさることができれば、降った雨に川へ流れ込む雨水の量はぐっと減らせるのだから、もっと流域全体の保水能力を上げることが必要なのではないか、との意見が複数の方から聞かれました。

写真提供：新河岸川流域川づくり市民懇談会・鈴木三三さん  
グラフデータ提供：埼玉県新河岸川総合治水事務所（作成：編集部）



9月 21日の雨は8月14日の集中豪雨を経験した私たちににとっては、そんなに気になる雨量ではありませんでした。

しかし、都市河川の多くはグラフが示すように1～2時間に10mm程度の雨が降っただけですぐに水位が上がってしまっています。21日には、12時頃から降り出した

雨が13時ごろから強くなり15時には合計20mmに。柳瀬川合流より1kmぐらいたった新河岸川本川宮戸橋では、一気に水位が2m近くも上昇しました。

特に、いつもの水川が入る新河岸川では雨が止んでもすぐには平常の水位には戻らないのがよくわかります。

## ● 流域 INFORMATION ●

### トトロの里山セミナー

『都市近郊の里山の保全』

～里山保全への現代的な課題を考える～

猿山丘陵に限らず都心に近い地域の緑地を守ろうとするとき、さまざまな問題にぶつかります。実際に問題にぶつかっている方、こういった問題に興味がある方、ぜひご参加ください。

日時 1999年11月21日(日) 午前10時～午後4時(9:45開場)

場所 明治大学文学部講堂

講師 鳥越皓之(筑波大学教授) / 内山節(哲学者)

主催 財団法人トトロのふるさと財団

共催 明治大学考古学博物館

参加費 500円(資料代として)

交通 JR中央線「お茶の水」駅下車、徒歩5分

※申込み不要

問合せ：(財)トトロのふるさと財団事務局 (042) 947-6047

### 身近な川の一音調査まとめシンポジウム

陸水学研究100年記念

～1900年代最後の年徳が買えたら～

日時 1999年11月20日(土) 午後1時～4時30分(12:30開場)

場所 武蔵野スイングホール11Fレインボーサロン

講師 沖野外輝夫(日本陸水学会会長)

人見達雄(クリーンメジャー発案者)

報告 多摩川水系・玉川上水/荒川・新河岸川水系他

\* 親子でクリーンメジャーによる透明度とバクテリウム検査！やってみようコーナーあり

主催 陸水学研究100年記念・身近な川の一音調査実行委員会

後援 建設省京浜工事事務所・荒川上流工事事務所・荒川下流工事事務所/東京都環境保全局/読売新聞社/他

交通 JR中央線「武蔵境」駅北口下車、徒歩2分

資料代 500円 ※申込み不要

### まちづくりシンポジウム～東村山～

都市計画マスタープラン策定シンポジウム

日時 1999年11月25日(木) 午後6時30分～

場所 東村山市中央公民館

※「北川かつぱの会」がパネラーとして出演

問合せ：東村山市都市計画課 (042) 393-5111

### 流域 INFORMATION をお寄せください

シンポジウム、コンサート、交流会、刊行物の配布・頒布など、新河岸川流域の方々へ広く知らせたい情報を募集しています。

日時・場所・問合せ先など必要な情報を、「しんぶん掲載希望」と明記して、郵送またはFAXにて新河岸事務所(表紙参照)までお送りください。

なお、1999年度の『新河岸川流域しんぶん』発行予定は、1999年12月上旬、2000年2月上旬です。

不老川川づくりまちづくりマップシンポジウム

発行：不老川流域川づくり市民の会



### このマップを片手に不老川を歩いてみませんか？

何が発見できるかも

かつて「京川No.1」になった事もある不老川を多様な生き物の棲める川に蘇らせようと活動を続けている、不老川流域川づくり市民の会が「不老川川づくり・まちづくりマップ」を発行した。

これは、観察会や川の調査をやりながら、約3年かけて集めた資料を取り纏めてマップとしたもので、各地のみどころを紹介しながら、全川を案内する内容となっている。又「いい感じ清流の雰囲気」とか「県有地を利用してワンドをつくろう」等の川づくりへの提案もしている。

不老川流域川づくり市民の会 代表 相馬和彦

### 川づくりに参加してみませんか！！

不老川流域川づくり市民の会

定例会 第3土曜日午後1時30分～

場所 狹山市入間公民館他(詳細はお問い合わせください)

会報 「川のさきやき」年4回発行

年会費 1000円

入会申込・問い合わせ(下記世話人まで)

入間市：(042) 963-7394 日比

狹山市：(042) 959-3831 丸橋

所沢市：(042) 948-5815 高松

定価 500円

石記世話人までお申込み  
ください。

入間市役所売店(1F)、  
所沢市役所売店(8F)  
でお求めいただけます